



国労仙台

No. 2546
2009年3月25日
発行責任者 橋本 昭二
編集責任者 武田 昌仙

2 2 2 2 2 2
232322 212016

団交（ダイ改・申11号）
団交（ダイ改・申13号）
第120回地方委員会
第94回婦人部定期委員会
09春闘第3回事務局会議
団交（ダイ改・申17号）
団交（ダイ改・整理）

3 3 3 3 3 2
11117 6 5 3 27
中央行動
団交（ダイ改・申14号）
中央行動
団交（ダイ改・申13号）
国労東北総決起集会
国労仙台総行動
第6回執行委員会
中央行動

3 3 3 3 3
251818 1614
地本組織対策会議
団交（総合車両センター
関係業務改善・申18・20号）
団交（同・申16・19号）
24・25 中央行動
鉄建公団訴訟控訴審判決

仙台に二日間で延べ七百名が集結

東北総決起集会・仙台総行動



国労東北協議会と国労仙台地本は2009年春闘勝利に向けた取組みの一環として、仙台市内において大衆行動を展開。

3月6日には国労東北総決起集会（国労せんだい速報版2544号参照）を開催、翌7日には国労仙台総行動を開催した。

座り込み開始

総行動は仙台市勾当台公園において十一時から開会。参加した組員が整然と座り込みを開始した。同時にオーブニングセレ

モニーとして「森風輝龍太鼓（しんぷうきりゅうだいこ）」の皆さんによる力強い太鼓演奏が披露され、総行動参加者への熱いエールが送られた。

主催者を代表して挨拶に立った橋本委員長は「空前の経済不況の中、企業は労働者の首切りで凌ぎ切ろうとし、その結果、我々労働者の生活はどん底に喘ぎ、衣食住の生活基本権すら奪われている。労働運動が停滞している中で、少しでも市民にアピールし、運動と連帯の輪を広げよう」と訴えた。また集会へは政党・友誼団体・国労議員団など多くの方々に駆けつけて頂いたとき、連帯と激励の挨拶を受けた。

チラシ配布行動

恒例となっている、D51合唱団による歌声を鑑賞した後、市内三箇所に分かれてのチラシ配布

採用問題、アスベストなどのチラシ約三千枚を市民に配布した。また来賓として参加の本部望月総務財政部長からは春闘情勢とJR不採用問題、組織問題等について報告と提起がされた。

ミニ学習会

更には「青空ミニ学習会」として、①貨物の合理化問題を東北貨物協議会の北貨物協理より、②電気職場の安全問題を仙台電気協議会の千葉議長より、③アスベスト問題については地本アスベスト対策会議の佐藤事務局長より、それぞれ報告と問題提起をして頂いた。

春闘川柳表彰

次にアトラクションとして定着を見せたい春闘川柳の表彰式が行われ、投票獲得数

上位十句【次頁参照】が紹介され、入賞者へ橋本委員長から賞品が手渡された。

決意表明

続いて各支部等からの決意表明として、仙台闘争団高橋団長、貨物協議会石井議長、東北自動車支部佐藤書記長、山形県支部伊藤書記長、郡工支部本田執行委員、福島県支部小嶋山委員長、仙総支部庄司委員長、宮城県支部秋山委員長からそれぞれ力強い決意が述べられた。

更には、地方大会以降の組織拡大の組織拡大者の決意として、自動車支部の兜森さんと佐藤書記長、郡山駅連の佐藤分会長より挨拶と決意表明を受けた。

また味が好評の「玉こんにゃく」のカンパ額25,821円は全額橋本委員長から仙台闘争団高橋団長へ手渡された。

集約集会とデモ

集約集会に移り、地本大沼書記長は「連日の集会にも関わらず、多くの組員が集結し、昨日の集会には428名（内仙台地本303名）、本日は287名と

ご来賓の皆様

- 社民党宮城県連合 岸田 清実幹事長
 - 共産党宮城県委員会 五島 平書記長
 - 建交労宮城地本 佐藤 稔委員長
 - 宮城県労連 高橋 正利議長
 - 仙台市職員労組 佐々木安夫委員長
 - 仙台市議会 相沢 和紀議員
 - 仙台市議会 石川けんじ議員
 - 仙台市議会 大槻 正俊議員
 - 日本共産党 高橋千鶴子衆議院議員
 - 宮城県交運労組協議会 鈴木 巖議長
- 激励ありがとうございました！



地本組対会議を開催

両日合わせて延べ人数では地本組織の六割の動員を勝ち取った。両日の行動力と団結を職場においても実践し、諸要求の獲得と諸課題の解決に向けて奮闘する事をお願いしたい」と集約。

集会アピールが佐藤婦人部長より読み上げられ、全体の拍手で確認された後、最後に橋本委員長の団結頑張ろうで集会を締めくくった。

参加者一同は隊列を組み、D51合唱団のうたごえに送られながら、仙台駅前までのデモ行進に出発。シュプレヒコールで市民へのアピールを行った。

3月14日、こくろう会館において第一回地本組織対策会議が開催された。

会議は中島副委員長の司会で開会し、橋本委員長より主催者代表の挨拶を受けた後、東日本本部武田組織部長から組織拡大の現状と取り組みについて提起がされた。【下囲み】

地方本部からは後藤組織部長が①一括和解以降の状況と組織の現状②08年新採者の獲得に向けた組織拡大運動の総括③今後の具体的な取り組みについて提起を行った。

また特別報告として、昨年12月1日付けで国労に新規加入したJRバス東北社員の奥森氏が国労加入に至った経過と決意を述べた。

【以下要旨】「平成7年バス東北に契約社員として入社、勤務地の十和田南営業所が平成14年に廃止となり、その後は秋田支店に単身赴任で勤務。1年更新の12年間に及ぶ契約社員期間を経た社員となったが、この間見切りをつけて職場を去った人、不満があり社員試験を受けなくて契約社員のまま10年以上働いている人もいます。一方で1〜2年で社員になる20〜30代の人もいて、この差は何かと思っています。JR各社、バス各社

特別報告

また特別報告として、昨

春闘川柳上位入選作品

第一位
指示を出す

上司の回路 誤配線

配線マン

第二位
パートナー

増える業務 無理言えず

ワカサギ 与作

第三位
うすくなる

髪と給料 記憶力

ふえるのは メタボと愚痴残尿感

あと少しで仲間入り

第四位
可愛いな

孫のホッペに口付けす

微笑みジジイ

第五位
ルールを守ろうと言われても

会社の施策は ルーズなり

アベノナカマサタロウ

我が職場

所長の支持率麻生以下

チェケラッチョ!

第七位
合理化で

仕事は増えて 人は減る

2組1班

手取り見て

デートする気も消えうせて

ロケットしんたろう

誕生日

今日は豪華に発泡酒

いつも第3ビールを

飲んでる労働者

差別され

冷や飯食わされ 放置され

どえむ

※事務局の集計誤りにより、一部順位の変動がありました。関係者には心よりお詫び申し上げます。また川柳へのご協力、誠にありがとうございました。

【春闘事務局一同】

新スタッフ紹介



3月1日より、仙台地本の書記として勤務している香澤萌加さんです。

香澤さんは、本年7月末日をもって定年退職を予定をしている岡崎さんの業務を引き継いで頂くことになっていました。

地本へお越しの際は、ぜひ優しく声をかけて下さいね。

退職のお知らせ

1月31日

橘 正一さん
福島地区

猪瀬 正友さん
若松地区（エルダー）

渡部善九郎さん
若松地区（エルダー）

山岸 秀俊さん
小田原地区（エルダー）

長い間お疲れ様でした

働きやすい職場を作ろう

05年の昇進和解、そして06年の仲間の加入以降、52名の仲間が加入し、17名の仲間が退職し、100%の更新率を達成しました。

05年の昇進和解、そして06年の仲間の加入以降、52名の仲間が加入し、17名の仲間が退職し、100%の更新率を達成しました。

武田組織部長報告

和解以降は、研修センターで東労組加入が進められてきたが、私たちが現場配属する東労組100%加入を阻止することが出来た。

仙台では、独身寮で加入など、まだまだ公平・公正に行われている。しかし、それらを見ていると、不公平・不正な面も感じられる。特に、去年3月に和解したが、研修期間中に貨物労組が加入せざるを得ない状況になっている。今年4月には東日本で1800名の希望を持って入社してくる。和解の趣旨を会社に周知徹底させるために、サポーターの国労指定や各組合に労組説明会を実施するなど、公正な扱いを現場でも求めていく必要がある。

全分会が職場の問題の改善と新規採用者獲得を柱に組織の強化・拡大を取り組む中から差別のない公平・公正な職場を作り働きやすい職場を作っていく。

分会報告

次々4つの分会から「昨

年の経験から学ぶ」をテーマとした拡大の取り組みの実践報告がされた。

郡山駅連合分会の佐藤分会長は、①日常的な関わりはもちろんだが、職場での問題点の改善や個人の問題も取り上げること、更には転勤しても付き合う人間・信頼関係をつくることが重要。仲間の関わりでは、役員でない、一般組合員の奮闘と決意が大切②分会執行委員会では毎回議題に。リストアップとオルグの実践。組合員・家族交流会の実施と仲間の参加③昨年の取り組み、新採歓迎会への駅長等への来賓要請・新採者へ

の「入社おめでとう」「私たちが国労です」チラシ配布。分会情報の活用や顔写真入りチラシの作成④東労組の混乱・迷走に対し、職場の声を代表している国労運動の優位性に自信を持つと報告。その後仙台信通区田中副分会長、郡山信通区大橋副分会長、貨物宮城結城書記長より昨年の取り組みを中心それぞれ報告がされた。

最後に全体で意見交換を行い、間近に迫った新採者の現場配属に対し具体的取り組みの意思統一を図り、散会した。